

あいさつ

組合員・利用者の皆様には、日頃よりJAいしのまきの事業運営に対し格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当JAの経営方針や事業・財務状況をはじめ、JA自己改革の取り組みなどを紹介した「ディスクロージャー誌2021」を発行いたしました。ぜひ、ご高覧いただき当JAへのご理解を深めていただければ幸いです。

さて、JA事業を取り巻く環境は、地球温暖化に伴う気候変動による災害リスクの高まりや、自由貿易による競争の激化、組合員・農業者の高齢化の進展による担い手不足、長引く日銀のマイナス金利政策の影響、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も大きく、出口の見えない状況は依然として続いています。このような中、第6次中期経営計画2年度は組合員皆様との対話活動である「ふれあい訪問活動」を実施し事業に取り組んで参りました。組合員ニーズに応えられる営農指導・販売体制を強化して参りました。また、当JA独自で創設した農業振興基金を活用した「農業振興支援対策事業」に取り組み、生産規模拡大を目指す農業者などに対し積極的に支援対策を講じ、農業者の所得増大に向け取り組んで参りました。

事業運営では、JAの強みである総合事業を展開し、健全な経営・財務基盤の確立に努め、財務状況も自己資本比率14.06%と基準を大きく上回る経営を実現できたのは、組合員・地域住民皆様のJA活動への参加とJA事業のご利用によるものと深く感謝申し上げます。

令和3年度は、経営基盤強化に向け、4つの経営方針を柱に「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に向けた不断の自己改革を進めます。また、4月より地域本部制を導入し、ふれあい訪問活動を通じ対話を重視した事業運営を基に、協同精神でつながる地域共同体としてより地域の特色に沿った事業の展開を目指し、地域に根差した「JAいしのまきブランド」を皆様とともに築いて参ります。

何卒、今後ともなお一層のご協力・ご理解の程を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月



 いしのまき農業協同組合

代表理事組合長 **松川孝行**